

生食用ぶどう

1 調査基準

(1) 樹性、樹体生育

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁	
					調査	平均
樹齢	接木あるいは挿し木後の生育シーズンの数。接木、挿し木を行った当年を1年生とする	A	計数	年生	1	
樹数	生存樹数。なお枯死樹についてはその樹数および原因を障害欄に記入	A	計数	樹	1	
幹周	樹勢については生育期間中、その他は落葉後から剪定前に調査 接木部の上部10cm(挿し木は地上部20cm)の太さ 剪定前の棚面の占有面積 縦(m)×横(m)×形(0.5~1) 形:三角形(0.5)、台形(0.75)、四角形(1)	A	測定 算出	cm m ²	0.1	0.1
樹冠占有面積		B			0.1	0.1
台負けの有無	穂と台木の肥大差の状態を観察により判定 なし 少 中 著しい	C	観察			
樹勢	新梢の長さ、太さ、副梢の発生程度から判定 弱 やや弱 中 やや強 強	B	観察			

(2) 生態

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁		
					調査	平均	
発芽期	全体の芽の20~30%で第1葉が見え始めた日	A	観察	月日	1	1	
展葉期	発芽腋芽数の20~30%で第1葉が開いた日	C	観察	月日	1	1	
開花期	開花始	20~30%開花した花穂が80%以上になった日	B	観察	月日	1	1
	開花盛	80%開花した花穂が80%以上になった日	A	観察	月日	1	1
	開花終	70~80%の花冠、雄ずいの脱落した花穂が80%以上になった日	B	観察	月日	1	1
成熟期	70~80%の果房が、収穫可能になった日	C	観察	月日	1	1	
収穫期	収穫始	最初の収穫日	C	観察	月日	1	1
	収穫盛	最も多く収穫した日	C	観察	月日	1	1
	収穫終	最後の収穫日	C	観察	月日	1	1

(3) 腋芽数

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁	
					調査	平均
全芽数	剪定後の全腋芽数。折損したものを除く。	A	計数	個	1	0.1
枯死芽数	寒害により枯死した腋芽数	A	計数	個	1	0.1
枯死芽率	枯死芽数÷全芽数×100	C	算出	%	0.1	0.1
生存芽数	芽かき前の生存腋芽数	A	計数	個	1	0.1
生存芽率	生存芽数÷全芽数×100	C	算出	%	0.1	0.1

(4) 新梢数、新梢長など

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁	
					調査	平均
新梢数	芽かき後剪定前に調査 1樹当たりの新梢数	A	計数	本	1	0.1
結果枝数	1樹当たりの花穂の着生した新梢数	C	計数	本	1	0.1
新梢長	必要に応じ、全新梢あるいは一定数の新梢を調査しその調査月日を記載 1新梢当たりの長さ	C	測定	cm	1	0.1
葉数	1新梢当たりの葉数	C	計数	枚	1	0.1
木質化長	新梢の木質化した部分の長さ	C	測定	cm	1	0.1
木質化率	木質化長÷新梢長×100	C	算出	%	0.1	0.1

(5) 着花、結実

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁	
					調査	平均
着花穂数	1 樹当たりの花穂の着生数	C	計数	個	1	0.1
平均着花穂数	1 新梢当たりの花穂の着生数	C	算出	個	0.1	0.1
花振り性	整形した果房について、花蕾の着生数と結実果粒数との比較で判定。有核品種は有核果粒の着生数から判定 少 中 多	B	観察			

(6) 収量

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁	
					調査	平均
収穫果房数	1 樹当たりの収穫果房数	A	計数	個	1	0.1
収穫重量	1 樹当たりの収穫果房重量	A	測定	kg	0.1	0.1
10 a 当たり換算収量	1 樹当たりの収穫重量および栽植密度から算出	C	算出	kg	1	1

(7) 果実の特性

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁	
					調査	平均
収穫月日	調査果実の収穫月日	A		月日	1	1
調査月日	果実調査月日	C		月日	1	1
果房重	収穫果房の中で、品種固有の形質をもつ平均的な5果房について調査 調査果の1果房平均重量	A	測定	g	1	1
果房長	果房の着粒部分の長さ	C	測定	cm	0.5	0.1
果房形	果房の横から見た形から判定 球 円筒 円錐 有岐円筒 有岐円錐 複形	B	観察			
果皮色	果皮の色を判定 黄緑 黄白 淡紅 赤 赤褐色 紫赤 紫黒 黒	B	観察			
着粒密度	果粒の着粒の程度を果房ごとに観察して判定 粗 やや粗 中 密 極密	B	観察			
脱粒性	果粒を果梗から引き離す場合の抵抗の状態から判定 易 中 難	C	観察			
裂果性	整形した5果房について成熟期における裂果粒の発生割合を果房ごとに調査し、5果房の平均値から判定。 果皮に傷が付いた程度のもは裂果と見なさない 無 : 裂果粒の割合が 0% わずか : // 5%未満 少 : // 5~20%未満 中 : // 20~50%未満 多 : // 50%以上	B	観察			
果粒形	果粒の横から見た形から判定 偏円 円 短楕円 卵 倒卵 円筒 長楕円 弓形	C	観察			
果粒重	整形果房について1果房あたり10果粒を計測し、5果房の平均値で示す。ただし果粒は果房全体から採取し有核品種については有核果粒のみの平均値	A	測定	g	1	0.1
外観の良否	果実の外観を総合的に判定 悪い やや悪い 普通 やや良い 良い	A	観察			
はく皮の難易	食べたときの果皮と果肉の分離の難易を判定 易 中 難	B	官能			
果肉特性	食べたときの果肉の構造上の特性を判定 崩壊性 中間 塊状	B	官能			

No. 品種系統名 (区別)	新梢 数	花振 い性	取 穫 果房数	取 穫 重 量 kg	果実の特性							
					取 穫 月 日	果房 重 g	果房形	果皮色	着粒 密度	裂果性	果粒 重 g	
1												
2												
3												
4												

No. 品種系統名 (区別)	果実の特性										耐寒性	
	外観の 良否	はく 皮	果肉 特性	果肉 硬度	糖度 %	酸 g/ 100ml	香気	渋み	食味の 良否	含核 数		
1												
2												
3												
4												

No. 品種系統名 (区別)	病虫害、生理障害、自然災害	特記事項	評定
1			
2			
3			
4			